

がん登録部会 活動状況

1. 第1回新潟県がん登録部会

- ・事務局：県立がんセンター新潟病院 庶務課に変更。
- ・書面にて開催（新型コロナウイルス感染症蔓延にて）
- ・議事録
- ・がん登録部会会員名簿

資料1

資料2

資料3

2. がん拠点病院 登録数（2022年）

資料4

3. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会

① 4月27日 Web会議にて開催

資料5

- ・2022年度院内がん登録の提出方法について
院内がん登録と全国がん登録の「提出」「届出」をクラウド上の「がん登録共通届出システム（GTS）」で一本化
- ・院内がん登録全国集計データの活用提供について
国立がん研究センターにおいて新たに「データ利用審査委員会（仮称）」を設置し、利用申請に基づき審査を行うこととしてはどうか（継続審議）。
- ・院内がん登録における「オプアウト状況」の項目追加
院内がん登録の活用の拡大と個人情報保護強化のに対応するため。
国立がん研究センターから以下が提供
 - ・院内掲示用ポスター（ひな形）
 - ・説明文書（ひな形）

② 院内がん登録公表内容

- ・院内がん登録2020年全国集計報告書公開（2021年11月26日）
https://ganjoho.jp/public/qa_links/report/hosp_c/hosp_c_registry.html
- ・生存率集計結果報告書の公表（2021年12月24日）
国立がん研究センターがん情報サービス
https://ganjoho.jp/public/aq_links/report/hosp_c/hosp_creg_surv/index.html
 - ・院内がん登録2009年10年生存率集計報告書
 - ・院内がん登録2013-2014年5年生存率集計報告書
- ・院内がん登録生存率集計結果閲覧システムの更新
<https://hbcr-survival.ganjoho.jp/>

*従来の5年・3年生存率に加え、10年生存率も閲覧可能

③ 院内がん登録2013-2014年5年生存率集計に対する新潟県のコメント

資料6

施設別集計値への意見を反映した報告書公開（2022年3月15日）

4. その他

審議事項

1. 令和4年度新潟県がん登録部会 部会員名簿

別紙名簿に誤りがないかをご確認ください。

2. 令和4年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会について

令和4年4月27日に国立がん研究センターを会場としてWEBで開催。部会終了後に配布したプログラム、資料を基に部会を開催。議事要旨ならびに当日の資料は「院内がん登録支援」ホームページに掲載。(要ログイン)

https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/

今年度部会で、全国集計方法が変更になる(なった)ことが報告され、全国集計、全国がん登録の提出が1回で済むこととなりました。今年度の認定試験、更新試験、研修も昨年同様WEB開催、CBT試験であることも報告されました。

議事として集計データの活用について、オプトアウト状況を登録項目に追加し、その状況を確認しながら進めることが審議されました。また、認定試験に関してポイント制の導入を図る方向であることも審議されました。令和5年に院内がん登録データの二次利用の一つとして、患者体験調査を全国的に行うことが説明されました。

3. 県内登録症例数集計

2020年症例までの集計は、昨秋に行いましたので、今回は行っていません。配信してありますデータを再度ご覧ください。

4. 「がん診療連携拠点病院等の整備について」改定について

院内がん登録部分での改定は条文の削除となっていますが、「院内がん登録の実施に係る指針」や「院内がん登録運用マニュアル」に明記されていることは遵守するよう、再度、確認してください。今回の改定で、都道府県協議会の役割強化がうたわれています。今後の情報公開を協議会で審議いただき、登録部会での対応の方向性についてご意見をお寄せください。(ご意見は9月30日(金)、 関根 までにお寄せ下さい)

新しい指針は厚生労働省のホームページで見ることができますので、ご確認ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/gan/gan_byoin.html

5. 確認事項

新しい整備指針のなかでもQIの利用とPDCAサイクルについて書かれています。国立がん研究センターが行っていますQI研究に参加してない拠点病院は積極的に参加してください。また、データ利用に関するオプトアウトについては、各施設の個人情報保護取扱に関する文章等をご確認いただき、院内がん登録の登録データの二次利用に関して明記し、患者さんからの問い合わせに対応できるよう、ご準備を進めていただいた方がよいかと思っております。また、施設、医療圏、都道府県においてBCPの策定も求められています。がん登録分野におけるBCPについても準備を進めておいた方がよいかと思っております。

令和4年度 新潟県がん登録部会 議事録

令和4年度新潟県がん登録部会については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、昨年同様、メールによる資料配信での書面審議となった。

1. 令和4年度部会員名簿について

別紙の通り

2. 令和4年度全国がん登録部会について

令和4年4月27日（水）にWEB会議として開催された。審議事項、プログラム並びに当日資料、議事要旨についてはがん情報サービスHP内に掲載されている通り。

○実務者部会員からの意見

【院内がん登録の情報公開について】

公開対象項目候補は別紙の通り。

公開情報は単年集計とし、国立がん研究センターから出されているデータを用いた新潟県の集計値をグラフ化し公開する。また、毎年拠点施設の部会員が持ち回りでデータの作成を行うこととする。

情報公開の場を新潟県福祉保健部のHP内にしたいと考えているが、県の同意をいただきたい。また、県として、協議会として、どのような情報を公開するのかを他の都道府県を参考にご意見を事務局にいただき、部会で協議を継続したい。

【データ利用審査会について】

審査員を各地方から県単位での持ち回りとなることから、どの施設が誰を審査員にするのかを考えておいた方がよいと考える。（詳細は全国部会の資料参照）部会での継続審議とする。

【中級認定者更新について】

現状決定しているポイント取得可能な研修会は国立がん研究センター主催のフォローアップ研修のみであり、その他独自で得られた研修会開催情報を部会内の実務者ならびに認定者同士で情報共有していただきたい。

【その他】

協議会として策定されるBCPの中に、院内がん登録がどのように活用されるのかを示していただきたい。

特に、施設で中級認定者確保が困難となる事案も想定されるので、院内がん登録の事業継続のための人材確保、育成を県ならびに協議会として検討いただき、BCP に忘れずに載せていただきたい。参考までに、中級認定者となるには、初級認定者でも最低 1 年、未経験者では最低 2 年を要することから、拠点病院の指定要件未達での猶予期間も考慮していただきたいと考える。

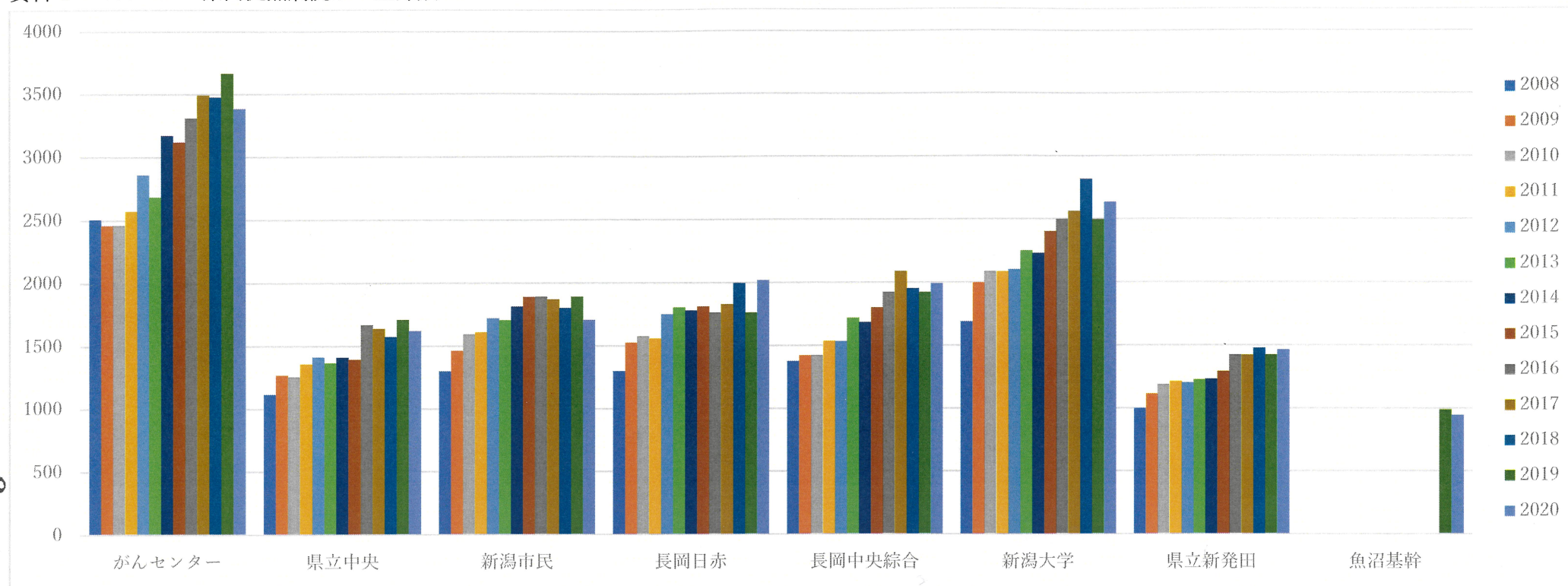
今回の拠点病院指定要件において、県協議会の役割が非常に重要であることが明記されたことから、当部会での活動（情報の公開等）に県のフォローアップ体制が構築され、実行されることを期待したい。

令和4年度 新潟県がん診療連携協議会 がん登録部会員一覧表

部 会 長	病院名	新潟県立がんセンター新潟病院
	所 属	消化器外科
	職 名	臨床部長
	氏 名	中川 悟

病院名	所属・職名	氏 名	メールアドレス
新潟県立がんセンター新潟病院	皮膚科 副院長	竹之内 辰也	
	消化器外科 臨床部長	中川 悟	
	内科 情報調査部長	塩路 和彦	
	病歴室 委託職員	関根 知香	
	病歴室 委託職員	石川 千恵	
新潟大学医歯学総合病院	がん登録室 室長	吉原 弘祐	
	がん登録室 がん登録員	伊藤 圭子	
	がん登録室 がん登録員	坂井 美希	
	がん登録室 がん登録員	佐藤 宏美	
	がん登録室 がん登録員	大鳥 陽子	
新潟市民病院	がん診療支援室 がん診療支援室長	伊藤 和彦	
	がん情報管理室 係長	吉田 信也	
	がん情報管理室 主査	揖斐 多恵子	
	がん情報管理室 副主査	高畑 莉奈	
	がん情報管理室 副主査	豊岡 真奈美	
新潟県立新発田病院	外科部長	塚原 明弘	
	病歴室 (委託職員)	中村 亜耶	
	病歴室 (委託職員)	唐橋 絵理奈	
長岡赤十字病院	呼吸器外科 部長	篠原 博彦	
	病歴管理課 課長	渡辺 純雄	
	病歴管理課 主任	小池 健	
長岡中央総合病院	外科 副院長	河内 保之	
	消化器内科 部長	佐藤 明人	
	医療支援課診療情報管理室 主任	矢引 智子	
	医療支援課診療情報管理室 事務員	河内 彩美	
新潟県立中央病院	病理診断科 部長	酒井 剛	
	病歴室 委託職員	永井 廉	
	病歴室 委託職員	黒田 彩未	
魚沼基幹病院	消化器外科・一般外科 部長	小杉 伸一	
	経営企画課医事係	小林 ひとみ	
	委託職員	森下 遙	
佐渡総合病院	病歴管理室 事務員	菊池 玲子	
	病歴管理室 事務員	佐久間 祥	
済生会新潟病院	医療情報センター センター長	車田 茂徳	
	TQMセンター 診療支援室長	木村 雄介	
	医療情報センター 病歴室係長	川端 沙織	
	医療情報センター 病歴室主任	金澤 雅子	
西新潟中央病院	医療情報センター 病歴室員	土田 陽彩	
	病歴管理室 診療情報管理士	遠藤 吉志子	
立川総合病院	病歴管理室 診療情報管理士	渡部 伸行	
	外科 副院長	蛭川 浩史	
	診療情報管理室 診療情報管理士	今井 悠子	
柏崎総合医療センター	診療情報管理室 診療情報管理士	成田 真美	
	病歴室 診療情報管理士	大谷 美佳	
上越総合病院	診療情報管理室 事務員	田村 美和子	
	診療情報管理室 事務員	今井 歩美	
新潟労災病院	医事課 診療情報管理士	一ノ瀬 麻衣	
オブザーバー	新潟県がん登録室	内藤 みち子	

資料4 2008-2020 県内拠点病院がん登録数



	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
がんセンター	2507	2459	2464	2573	2861	2686	3175	3120	3312	3494	3479	3668	3387
県立中央	1115	1268	1257	1356	1413	1367	1410	1394	1669	1638	1575	1710	1622
新潟市民	1301	1462	1594	1610	1722	1707	1815	1889	1892	1871	1803	1892	1708
長岡日赤	1301	1527	1576	1560	1753	1807	1782	1812	1765	1830	1999	1765	2021
長岡中央総合	1377	1422	1423	1536	1535	1719	1685	1801	1922	2089	1954	1922	1994
新潟大学	1690	2000	2087	2087	2105	2252	2232	2403	2499	2564	2820	2499	2640
県立新発田	1001	1116	1189	1214	1203	1227	1232	1293	1425	1423	1479	1425	1465
魚沼基幹												987	946

資料5 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会プログラム

日時 2022年4月27日(水) 13:00 ~ 16:00

(WEB開場 12:50~)

会場 国立がん研究センター (WEB開催)

プログラム

0. 資料報告事項(資料のみ・事前配布)

院内がん登録関連今年の予定(資料1)

- 予後調査支援事業、院内がん登録生存率・全国集計データ収集、QI研究の日程
- 院内がん登録実務者研修・認定試験等の形式と日程について

1. 挨拶

2. 報告

- ① がん登録部会設置要領の改正について(資料2)
- ② 院内がん登録の提出方法について(全国がん登録との関係)(資料3)
- ③ 患者体験調査の予定について(資料1)
- ④ QIデータとの予後連携の伺いについて(資料1)

3. 議事

- ① 院内がん登録全国集計データの活用提供について(資料4)
- ② 新規項目の追加について(オプトアウト状況、部位別因子)(資料5)
- ③ 実務者認定更新におけるポイント制について(資料6)

4. その他・連絡

資料

1. 院内がん登録関連今年の予定について(スライド)
2. がん登録部会設置要領の改正について(PDF資料)
3. 院内がん登録の提出方法について(スライド)
4. 院内がん登録全国集計データの活用提供について(スライド)
5. 標準登録様式追加項目について(オプトアウト状況、部位別因子)(スライド)
6. 認定更新ポイント制について(スライド)

資料6 「院内がん登録 2013-2014 年 5 年生存率集計」に関する新潟県のコメント

この度の 2013-2014 年 2 か年分の生存率で胃がんの実測生存率、大腸がんの実測生存率ともに全国平均を大きく上回る結果となった。両がんともに発見経緯でがん検診、健康診断・人間ドックの割合が高く、更に観血的治療の施行割合も高い数値を示していることから、検診による早期発見、早期治療が生存率向上に大きく貢献した形と推測できる。また、がん検診が行われている胃、大腸、肺、乳、子宮頸部については実測生存率が全国平均を上回る結果となった。

新潟県の集計として、住民票照会に協力が得られなかった施設の数値が抜けていること、実測生存率はがん以外での疾病による死亡も含まれていること等、今回の報告書の数値が新潟県のがん治療の実態を直接表すものでないことにご留意いただきたい。